



2019 平成31年 4

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課
〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0003 狛江市和泉本町 1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階 A号
☎ 3430-6617 FAX3430-6743

日本代表目標にレベルアップ



＝新連載＝



サッカー

熱戦を繰り広げる小学生たち

年に設立され、サッカー協会は同年に解散した。

現在は、サッカー人気が高まり、連盟発足時よりチーム数、選手数とも増えており、500人を超える子どもたちがプレーを楽しんでいる。

狛江市は昔からサッカーが盛んで、元女子サッカー日本代表でサッカー指導者の

9月のラグビーワールドカップ、来年の東京2020オリンピック・パラリンピックを前に、スポーツ団体や学校、パラリンピックの競技体験など、狛江のスポーツの現状を紹介します。

を強化、男子と互角にプレーする女子も珍しくないという。

また、現在の大会は3年生以上が対象だが、1年生や2年生も加えた正式な大会の開催などを企画しており、さらに競技人口を増やしたいとしている。

連盟によると「サッカーは子どもたちに最も人気の高いスポーツで競技人口も増えている。ただ、試合や練習ができるグラウンドが少ないのが悩みで、施設面での拡充が課題」と話している。

問い合わせ ☎090-2741-8626 矢島さん。

狛江市少年少女サッカー連盟(矢島光雄会長)は小学生のサッカーチーム9団体が加盟、春(6月～7月)と秋(11月～12月)の大会のほか、狛江市主催の市民大会(2月～3月)を開催している。

以前は平成元年に設立された狛江市サッカー協会があり、子どもからおとなまでを対象にしていたが、おとなのチームが減少して運営が難しくなったため、対象を小学生に限定した同連盟が平成16

野田朱美さんの出身地でもある。このため、連盟発足時から「狛江から日本代表を」のスローガンを掲げ、その実現のため、4年前に市内の各チームから選抜した5年生でチームを編成、多摩地区の市町村との交流試合を行って成果を上げるなど、レベルアップを図っている。

3年前から女子の裾野を広げるため、小・中学生や保護者のおとなを対象にした女性のためのクリニックを開いて指導

合を行うもので、パラリンピック競技になっている。

この日は市民や市職員など約30人が参加。ブラインドサッカーについて説明を受けた後、日本代表強化指定選手の寺西

さんと日本ブラインドサッカー協会職員の原田亮さんの指導で、アイマ

スクをつけて声を頼りにコミュニケーションをとったり、ボールから出る音や周りの声を頼りにパスを出すなどの基礎を学んだ。

市職員で学生時代にサッカー選手だった猪野裕介さんは「自分のいる位置やボールを蹴った方向もわからなかつ



アイマスクをしてボールを蹴る参加者

た。普段いかに視覚に頼って行動しているかを痛感しました。また、言葉で情報を正確に伝える難しさも感じました」。掛川智史さんも「普段なら簡単なボールを蹴ることさえ難しく、もどかしかったです」と感想を述べていた。

● 狛江市東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等推進プロジェクトチームの市職員がパラスポーツに挑戦した体験を報告します。

ブラインドサッカー (5人制サッカー)

見えないボールに悪戦苦闘

パラスポーツ普及促進事業の一環として狛江市体育協会がブラインドサッカー教室を2月6日(日)に狛江市市民総合体育館で開催した。

ブラインドサッカーは、ゴールキーパー以外はアイマスクをした選手が転がる音が出るボールを使い、コート外から指示する人の声とボールの音を頼りに試

スポーツ振興へ多彩な活動



体育協会が狛江市民まつりで催すスポーツ祭

狛江市体育協会

特定非営利活動法人狛江市体育協会(井上城治会長)は市内の22のスポーツ団体で構成され、約4,000人が登録している。昨年、創立50周年を迎えた。

市のスポーツやレクリエーション、健康増進などの事業の中心的存在として、スポーツ大会の企画・運営、指導者の養成・派遣、団体の育成や相互の連絡調整、スポーツ情報の収集・告知など、幅広い活動を行っている。最近では、増加するシニアを対象としたニュースポーツの普及にも力を注いでいる。

同協会は、狛江町時代に設立された体育団体連絡協議会を母体として昭和43年に7団体で狛江町体育協会として発足、45年の市制移行に伴って現在の名称に改められた。60年に東京都体育協会に、62年に都下体育協会連合会(現・東京都市町村体育協会連合会)に加盟した。61年の狛江市市民総合体育館の完成に伴って同館内に事務所を開設した。平成2年から狛江市市民スポーツレクリエーション・フェスティバル、15年から狛江市市民スポーツ大会を委託事業として催している。

18年に特定非営利活動法人の認可を受けた。21年度に狛江市体育施設の指定管理者となり、東京アスレティッククラブと共同で、市内のスポーツ施設9カ所

の管理運営にあたっている。

今年度は、狛江市市民スポーツ大会、ジュニア育成地域推進事業とシニアスポーツ振興事業、市民まつりと狛江市スポーツ事業への参加・協力、障がい者スポーツ支援の調査・研究・協力などに加え、9月に開催されるラグビーワールドカップ、来年の東京2020オリンピック・パラリンピックへの気運醸成にも力を注いでいくという。

井上会長は「最近のスポーツは『する』だけでなく、『見る・支援する』という要素が加わってきている。体協としても、市民にスポーツの裾野を広げ、多くの市民がやりたいことをサポートしていきたい。また、体協にもっと親しんでもらうとともに、埋もれたアスリートや指導者の発掘にも力を入れていき、登録者も増やしたい」と話している。

問い合わせ ☎3480-6211 狛江市体育協会。

狛江第一中学校 スーパーアクティブスクール

狛江第一中学校は東京都教育委員会の指定を受け平成28年度から30年度までスーパーアクティブスクールの市内唯一の実践校として、生徒たちの自尊感情と体力を向上させるためにさまざまな取り組みを行ってきた。

1年目は特別支援学級1組の生徒がプロバスケットBリーグ2部のアースフレックス東京Zの選

手にバスケットボールを教わったり、ロンドン五輪日本代表でパナソニック女子陸上競技部アスリートアドバイザーの吉川美香さんやパナソニックエンジェルス選手から走り方を学んだ。2年目は特別支援学級1組に加え、2・3年生が吉川さんから持久走指導を受けたほか、1年生はプロダンサーSERIさんからダンスの表現の仕方やフォーメーションを学んだ。3年目は1、2年目の活動のほか、アテネ五輪水泳200mバタフライ日本代表の高橋(旧姓:長田)友喜子さんからクロールや平泳ぎなどを学んだ。部活動でも、サッカー部がFC町田ゼルビア



FC町田ゼルビアユースの監督(右)から指導を受けるサッカー部員



アスリートからスポーツの楽しさ学ぶ

ユースの竹中稔監督やコーチの指導を受けるなど、すべての運動部が大学や実業団で活躍するアスリートから練習法や心構えなどを学んだ。

その結果、「スポーツが好き」「運動をもっとしたい」という生徒が増えるなどの効果がみられた。また、多くのアスリートとの交流やアドバイスによって運動の楽しさを感じ、運動能力や技術が向上したという。

樋口豊隆・前校長は3年間の実践について「教わる生徒たちも教えるアスリートとともに成長できました。交流したアスリートとの縁を大事にして、継続して活動に取り組んでいきたい」と話している。

4月のスポーツカレンダー

1・8・15・22日 日 11:25 バドミントン 西和泉体育館 狛江市民総合体育館 ☎080-1327-9789 松沼

1・8・15・22・29日 日 19:00 体操教室(男女) 市民総合体育館 狛江市民総合体育館 ☎090-5829-8069 前川

2・9・16・23・30日 日 11:25 ショートテニス 西和泉体育館 狛江市民総合体育館 ☎080-1327-9789 松沼

3・10・17・24日 日 11:30 体操教室(女性) 市民総合体育館 狛江市民総合体育館 ☎080-1327-9789 松沼

3・10・17・24日 日 16:15 バレーボール 西和泉体育館 狛江市民総合体育館 ☎080-1327-9789 松沼

8日 日 9:00 卓球を楽しむ会 市民総合体育館 狛江市民総合体育館 ☎090-9103-7131 山本

11日 日 9:00・20日 日 11:25 吹奏楽教室 市民総合体育館 狛江市民総合体育館 ☎090-1437-2420 田村

21・28日 日 10:00 働くお父さんとお母さんのためのテニス教室 元和泉テニスコート 狛江市民総合体育館 ☎090-3134-0132 山田

*開催日・期間、開始時間、イベント名、会場、主催、お問い合わせ先(2回目以降は電話番号省略)の順。